

## 平成26年度 南小学校区きずなづくりトーク トークまとめ

5月23日(金)に開催された「南小学校区きずなづくりトーク」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。トークのまとめができましたので、送付いたします。

なお、南小校区では、【防災訓練】【地域の連携】の2つの分野について、意見交換や情報共有が行われました。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)

皆さん、ご参加ありがとうございました。



### 【当日参加団体一覧】

団体名		
南本町御殿町内会	ウイステリア三島青木自治会	南幼稚園
南本町高台町内会	交通安全母の会	南幼稚園PTA
中田町北町内会	環境美化推進委員会	私立のびる幼稚園
中田町南自治会	保健委員会	私立のびる幼稚園PTA
南田町町内会	民生委員・児童委員	南小学校
富田町自治会	三島市立青木保育園	南小学校PTA
南本町新御殿町内会	南本町高砂会	南中学校
青木町内会	中田町南ならはし会	南中学校PTA
新谷自治会	富田町富士見会	地域包括支援センター
玉川自治会	玉川老人会	地域づくりコーディネーター
平田自治会	新谷ひいらぎ会	藤代町子ども会
藤代町町内会	消防団第17分団	

※当日参加者 39名

アンケート：分野ごと最も話し合いたいテーマについて、参加者の希望を伺いました。



### 【会場アンケート結果】

	検討テーマ
防災訓練	①防災訓練への中学生の参加率を上げるためには?・・・ 3人
	②要援護者をどのように助けるか?・・・ 12人
	③中学生が活躍できる訓練プログラムとは?・・・ 5人
	④多くの世代が参加しやすい魅力的な訓練とは?・・・ 10人
地域の連携	①住民同士のコミュニケーションの機会を増やそう!・・・ 13人
	②子どもと地域の方の交流を促進するには?・・・ 15人

下記のテーマにもとづいて発言された内容について、現状・課題を「今まで」、課題解決につながる取り組み・アイデアを「これから」に分類し、まとめました。（○：参加者発言 ●：市長発言）

## 【防災訓練】

今まで	これから
<p>テーマ① 防災訓練への中学生の参加率を上げるためには？</p>	
<p>○中学生の参加率を上げるのは簡単なようで難しい。中学生は関心がなく大人任せで、自分たちは関係ないと思っている。</p> <p>○賛否あると思うが、部活動は大会は別として訓練日くらい休めると思う。部活動があるから参加しないというのは言い訳だと思う。</p> <p>○中学生の子どもに、訓練参加証を学校に提出するとどんなメリットがあるのか質問された。学校でメリットをはっきりさせてくれると、子ども達も参加してくれると思う。</p> <p>●昼間、災害が発生した場合、南中学校は南幼稚園をサポートすることになっている。ただ、保護者には中学生が戦力という意識はない。</p>	<p>○中学生に興味を持たせるのが一番だと思う。できれば保護者も一緒に参加するといい。</p> <p>○根本はどう参加意識を高めるかということ。学校や家庭がバックアップしていかないと難しい。</p> <p>○南中学校では試合・大会を除いて、訓練を優先するよう指導している。グループ競技の場合は1人休むと試合にならず、どうしてもその子が非難されてしまう。</p> <p>○12月に一斉に訓練をやって頂ければ、中学校で全面的にバックアップできる。</p> <p>○南中学校では、参加証は夏休み前と後の年2回発行している。訓練に参加したことは、通知表と高校入試の調査票に記入している。</p> <p>●日頃から中学生は戦力だという、指導や意識付けが必要だと思う。</p>
<p>テーマ② 要援護者をどのように助けるか？</p>	
<p>○会長になり要援護者リストを受けとったが、「これは守秘」ということで終わってしまった。これからどう支援したらいいか全くわからない。</p> <p>○要援護者の支援者を決めても、災害の発生する時間帯によっては、支援者が不在の場合もある。支援者がいない場合に備え、その次にカバーできる人も決めたいが、非常に難しい。</p> <p>○要援護者のうち何人かは見守ってくれる方がいるが、年々高齢者も増えていて、支援者を決めても大変になってしまう。</p> <p>○地域包括支援センターに、民生委員から「要援護者の中にも色々問題があり、ご家族で地域にとけ込めていない方もいる」と相談を受けることもある。</p>	<p>○要援護者リストは、4～5月に民生委員が1人暮らしの高齢者・障がい者などを調査し作成している。名前や住所が出ることは、本人の了承を得ているので、個人情報保護に関しては問題ない。</p> <p>○やはりご近所が皆で助けあう気持ちをもってほしい。</p> <p>○近所とつながりのない世帯について、これからどうしたらいいか地域で話し合っていかなければならない問題と思う。</p> <p>●芙蓉台ではリタイアした方がサポート隊を作り、毎月訓練を実施。緑町では昨年の訓練では、小学生を要援護者に見立てた運搬訓練等を行った。参考にしてほしい。</p>

今まで	これから
<p>○障がい児には特別な関わり方が必要になる。また成人では作業所などの施設に通っている方が多く、施設の方は施設を避難所とする考えの方が多い。災害時、障がい者は通っている施設など慣れた場所で過ごすことが一番いい。</p>	<p>○要援護者リストを作成する際、「その人がどの施設に通っているか」「その施設に災害時の対応が相談可能かどうか」などの情報を名簿に書き加えるといいのではないかと思う。</p> <p>●市では福祉避難所を設定している。そこにどうい方が集まるかまだ決めていないので、今のご提案を検討していきたい。</p>
<p><b>テーマ③ 中学生が活躍できる訓練プログラムとは？</b></p>	
<p>○最近、中学生が幼稚園や保育園に行き、職業体験をする学習が行われている。</p>	<p>○訓練に幼児連れの家族が参加していたら、中学生が小さい子の面倒を見てあげて、その間に保護者が訓練に参加するよう、お手伝いすることができると思う。</p> <p>○避難してくる時に、お年寄りと一緒に歩いてくることもできると思う。</p> <p>○中学生が企画運営することも可能ではないか。</p>
<p><b>テーマ④ 多くの世代が参加しやすい魅力的な訓練とは？</b></p>	
<p>○昨年、訓練で避難所(南中学校体育館)を見学した。</p> <p>○6 町内合同訓練ではたくさんの方が参加していた。南中学校体育館の見学は、意義のある貴重な体験だった。</p> <p>○消火器や温水池での放水訓練など小中学生参加をメインに進めていた。</p>	<p>○避難所をただ見学するだけではなく、子どもから大人まで色々な役割をもち、本当に避難したような宿泊訓練ができれば、中学生も楽しく参加できると思う。</p> <p>○面白いと思える訓練が、魅力的な訓練になるのではないか。</p> <p>○子ども達が参加するには、子ども達ができる内容を盛り込むことが必要だと思う</p> <p>○炊き出しなど、被災時に実際に行うことを小さい頃から体験していけば、大人になっても地域皆で行う訓練に参加すると思う。</p>

**【地域の連携】**

今まで	これから
<p><b>テーマ① 住人同時のコミュニケーションの機会を増やそう！</b></p>	
<p>○南本町新御殿町内会には大きなマンションがあるが、マンション住民の参加が非常に難しいと感じている。子どもも少なく、お年寄りが増えている。</p>	<p>○場所がなくなってしまったが、今まで「桜を見る会」や、防災訓練後にマンションの子どもたちも呼んで懇親会を開くなど、町内の親睦を深めている。(南本町新御殿町内会)</p> <p>○昨年から高齢者を対象に「おしゃべりと歌声の会」を開催(今年は6月実施予定)。おしゃべりしたり、歌集を作って大声で歌うなどの活動をしている。(南本町新御殿町内会)</p> <p>○2010年4月から町内会便りを月2回のペース</p>

今まで	これから
<p>○地域包括支援センターでは、地域にサロンを開くことに関心がある方を対象に「地域安全サポーター養成講座」を開催している。各自治会の協力を得ながら、月に一回お茶会をするような会の立ち上げ支援を行なっている。内容は運動、おしゃべり、お茶会など。</p>	<p>で出している。現在114号ぐらい。必ず子どもから大人まで町内の方が書いた文章を入れ、どこにどんな方がいるか分かるよう活動している。(南本町新御殿町内会)</p> <p>○町内には色々な才能をもった方がいる。またサロン会場の手伝いや、使用しなくなった食器の提供など、できる範囲で協力してもらえると大きな力になる。</p> <p>○今年も「地域安全サポーター養成講座」を開催する。サロンなどを作りたいという自治会があれば、情報を教えてほしい。</p>

**テーマ② 子どもと地域の方の交流を促進するには？**

<p>○藤代町子ども会は今年で終わり。入る子どもが少なくなっていて、来年は子ども会を維持できなくなってしまう。</p> <p>○特別支援学校に通っている長男がいる。次男が子ども会に入ることで、地域の方に長男のことを知ってもらっている。子どもが地域の中に入るとは大事なことだとわかっているし、子ども会は残したいが難しい。</p> <p>○昨年、藤代町町内会として子ども会のことにもっと力を入れるべきだったと思う。</p> <p>●三島市内の小学生 6,000 人強のうち、子ども会に加入しているのは 2,000 人ほど。子ども会が崩壊した理由は、少子化と保護者の都合。役員をやりたくない方、スポーツ少年団に入っているから必要ないという方もいる。</p> <p>○ウイステリア三島青木自治会の役員を経験し、マンションの方との交流をかなり深めることができた。昨年 10 月に個人的にハロウィンパーティーを行った。子どもが仮装しお菓子をもらいに各家庭を回るの、子どものいない世帯にもお菓子を渡すようお願いしたところ、快く引き受けて頂いた。大多数の子どもが参加し、子どもたちも楽しんでくれた。住民からの苦情もなく、世代を超えた交流ができたと思う。</p>	<p>○どうしたら子ども会に入ってくれるか、夏祭りなどのイベントで地域の方と交流することなどを考えている。</p> <p>○どこの家にどういう子がいるのかわかればアプローチできるが、現在は個人情報保護などで情報を出してもらえず、打てる手がない。これは要援護者や防災の問題にもつながっていくことだと思う。</p> <p>○お祭りに子どものプログラムを入れることや、体育祭で子どもが参加できる種目を多く入れることを考えている。今年で最後だが、町内も協力してやっていきたいと思っている。</p> <p>●梅名など、自治会で健全育成会を立ち上げ、自治会が子ども会と同じような活動をしている地区もある。</p> <p>●学校と家庭と地域が連携し、地域の子どもの育てていくことが大事。現在、学校支援地域本部づくりを進めている。協力してほしい。</p> <p>○今年度は自治会でバックアップしてくれて、自治会主体でハロウィンパーティーを実施することになった。世代を超えた交流が広がったと思う。</p>
--	---

今後の地域活動の参考にしてください！